



開催期間  
 令和5年 6月1日(木)  
 令和6年 3月31日

## 町職員との交流はいかが？

町職員が皆さんのところに伺ってご希望のテーマに沿って事業説明などを行い、直接、町職員と意見交換する「交流トーク」を上記の期間で実施します。開催希望の方は下記からテーマを選び、お申し込みください。詳しい内容は、お問い合わせいただくか、町HPをご確認ください。

### 交流トークのテーマ一覧と担当

1 区、自治会の法人化	【総務課】
2 情報公開制度、個人情報保護制度	【総務課】
3 地域防災	【総務課】
4 交通安全、交通事故防止	【総務課】
5 町内の公共交通	【総務課】
6 総合計画	【企画情報課】
7 自治体 DX、情報化	【企画情報課】
8 男女共同参画	【企画情報課】
9 広報紙づくり	【企画情報課】
10 菟野町の財政	【財務課】
11 町税のしくみ(住民税、固定資産税他)	【税務課】
12 証明書のコンビニ交付	【住民課】
13 国民健康保険制度	【住民課】
14 後期高齢者医療保険制度	【住民課】
15 健康づくり	【健康福祉課】
16 障がい者福祉	【健康福祉課】
17 介護保険制度	【健康福祉課】
18 高齢者福祉	【健康福祉課】
19 高齢者の健康づくりと介護予防	【健康福祉課】
20 子育て支援	【子ども家庭課】
21 児童虐待	【子ども家庭課】
22 生活排水対策の手法	【環境課】
23 浄化槽の知識	【環境課】
24 廃棄物処理(分解、分別)の方法	【環境課】
25 ごみの減量化、資源物回収(品目選別、出し方)の方法	【環境課】
26 廃棄物集積場と資源物回収所の維持管理ルール(環境保全条例から)	【環境課】
27 各種リサイクル法のしくみ	【環境課】
28 廃棄物不法投棄対策とクリーン大作戦	【環境課】
29 犬猫ペットの正しい飼育と苦情あれこれ	【環境課】
30 斎場(火葬場、葬祭会館)の施設内容と利用する上での心得	【環境課】
31 お墓の知識	【環境課】
32 農業委員会の仕事	【観光産業課】
33 地産地消、6次産業化	【観光産業課】
34 森林の機能	【観光産業課】
35 地域ぐるみの獣害対策	【観光産業課】
36 観光地づくり	【観光産業課】
37 道路の計画と維持	【都市整備課】
38 都市マスタープラン	【都市整備課】
39 住宅の防火対策	【消防本部】
40 教育委員会と小中学校の取組	【教育課】
41 生涯学習の推進	【コミュニティ振興課】
42 町の文化財	【コミュニティ振興課】
43 公民館活動	【コミュニティ振興課】
44 図書館のサービス	【図書館】
45 下水道事業	【上下水道課】
46 水道事業	【上下水道課】
47 議会の役割と仕事	【議会事務局】

開催は  
10名から

開催時間などは  
ご相談ください  
 お申し込み  
 企画情報課  
 TEL 391-1105  
 FAX 391-1188

## 全国入選3席 全国4位 実は評価が高い「広報こもの」

自治体の広報紙を審査する令和4年三重県広報コンクールで「広報こもの令和4年9月号」が広報紙部門(町の部)で、組み写真の部で「広報こもの令和5年11月号P.2~3」がそれぞれ特選(三重県1位)に選ばれました。さらに令和5年全国広報コンクールで「広報こもの令和4年9月号」が広報紙部門(町の部)で入選3席(全国4位)を獲得しました。実は皆さんのお手元に届いている広報こものは評価されているんです。



- 審査員の評価(一部抜粋)**
- ▶写真がよく、レイアウトも洗練されており、三重県内の町の部では頭一つ以上抜けている。
  - ▶表紙と特集のデザインに特徴があり、毎月違ったイメージを見せていて、委託なしでこのクオリティはよくできている。
  - ▶地域が抱える問題を提示するだけでなく、サービスの紹介などがあり、前向きになれるようつくりになっている。
  - ▶全体がスリムで、表組みやアイコンを活用し、ビジュアルなページ構成になっている。

**町** 民の皆さん800人に行った令和4年度町民アンケートでは、85%を超える皆さんが「広報こものを見ています」と回答しました。「毎月必ず見ている」という方も30%を超え、町民の皆さんが広報紙を情報源として利用していることがわかります。現在、町からの情報発信手段はホームページやSNSなどさまざまな方法がありますが、令和の時代になっても広報紙は欠かせない発信手段です。紙面だからこそ伝わる

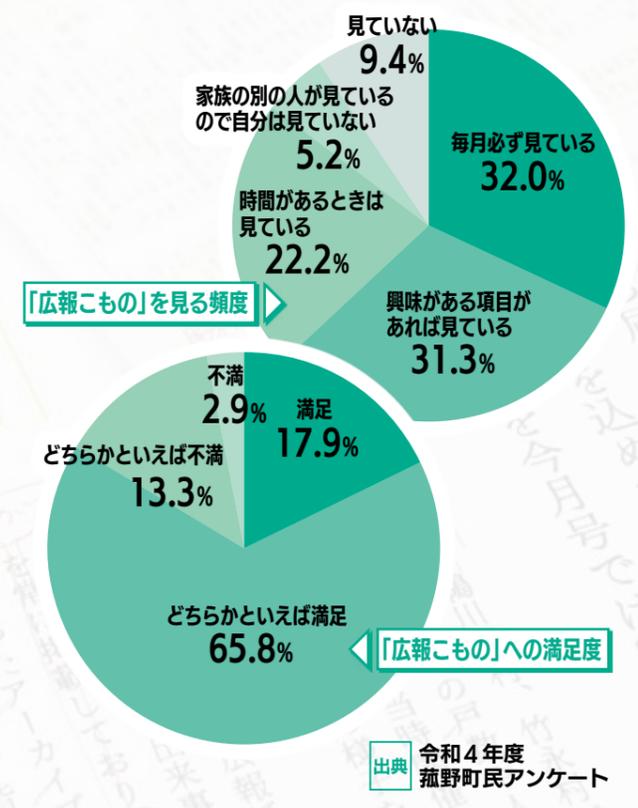
写真の温かみや企画内容があると考え、これからも時代に合わせたかたちで発行を続けていく予定です。今後も広報こものを通じて、自分たちのまちや住んでいる人々の魅力を伝えたい。そして、住民にとって広報こものがこのまちに住んでいる小さな特典のように思ってもらえるようになるまで、工夫を凝らした紙面展開を考えたいと思います。皆さんも毎月の発行を楽しみに、引き続きご愛読いただければ幸いです。



## 町民皆さんの感想 読者の声(一部抜粋)

- 20歳代 菟野地区**  
とても読みやすくてよいが、もっと町民の活動などが知りたい。
- 50歳代 菟野地区**  
見出しが分散しているので、どこにどの記事があるのか把握しづらい。
- 50歳代 鷺川原地区**  
身近なテーマが少ないので楽しみにするような企画を考えてほしい。
- 40歳代 鷺川原地区**  
毎月楽しく拝見させてもらっている。年配から若者まで幅広く関心がある内容を記事にしてほしい。
- 20歳代 菟野地区**  
配布物が多すぎると思う。月一回の発行でもよく、紙の節約にもなると思う。
- 50歳代 朝上地区**  
町役場の特集をしてほしい。各課の紹介や補助金の情報など、お金に関する情報は掲載してほしい。

**令** 和2年7月号から広報こものではほぼ毎月、巻頭に特集記事を設けています。特集記事が広報こもの読むきっかけになればと考え、さまざまな題材を取り上げていきます。直接取材に向き、複数ページにわたる記事で、より深く、より細かく事業の内容を紹介し、携わる住民の姿が伝わるようにしており、特集記事で取り上げる内容は、そのとき、その号で最も伝えたい菟野町の旬の情報を掲載しています。ですが、紙面上だけではページ数の制限もあり、表現しきれないこともあります。「広報こもの何か一つでも知識や理解を深めてほしい。特集記事から住民の皆さんの興味や関心が高まり、今までと違う行動に繋がったり、何か得られることがあれば嬉しい」。そんな想いをもって、毎号の特集を企画しています。



## 特集 LINE UP



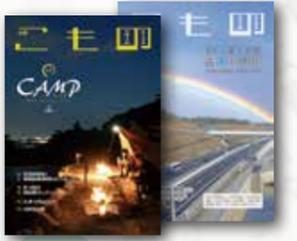
「スポーツ」に関する特集  
令和3年9月号

「菟野の地で頂へ」  
令和2年10月号



「安全安心」に関する特集  
令和2年12月号

「突然の豪雨」  
令和元年7月号



「観光PR」に関する特集  
令和4年7月号

「PICK UP 南伊勢町」  
令和3年1月号

## 私も広報担当

菟野町芸術文化協会 写真部会  
 会長 曾根 貢さん  
 私自身、平成13年から広報こもの写真提供に携わるようになり、これまで多くの写真を掲載してもらいました。歴代の広報担当者から難しい写真の題材を提示されることもありますが、現場に行かないとわからないこともあり、いい経験になっています。



さまざまなアングルの写真が欲しいとき、広報担当者とは違う方向から写真を撮影してくれています。

毎月発行される広報紙は、町職員以外のボランティアの協力もあり、発行できています。

ボランティアグループ 響きの会  
 会長 小野義一さん  
 約20人の会員で町内で発行される7種類の発行物を読み上げています。発行日から4日以内に「声の広報」を届けられるように写真やイラストまで解説をいれて、聞き手にスッと入っていくような読み上げを心掛けています。



目に障がいがある方へ広報紙を音読した「声の広報」を収録し、届けています。